

親鴨だより

2007年 5月号
第231号



今年も快適な清々しい季節がやってきました。この時期会員の皆様におかれましてはお元気で過ごしの事と推察しております。また親鴨会総会も各地で無事終了し、本格的に諸行事がスタートします。行事参加を通して会員相互の親睦が一層深まるよう願っています。

さて、今話題の安倍政権が掲げる「美しい国、日本」について考えてみました。確かに一年を移ろい行く日本の四季は、夫々に味わい深い季節を醸し出し、四季を通じて変化する景観は実に「美しい国、日本」に相応しい国土と言えるでしょう。しかしこの国土で生活をしている私達の身边には、悪質な事件、事故が頻発し物騒な世の中に向かっているように思えてなりません。世界各地でも争いが絶えず、昔から人の世に戦いの尽きる時はないのだと変に納得してしまいます。日本経済もようやく不況を脱し最近いざなぎ景気を超える経済繁栄と言う言葉を耳にしながら、地方に住む私には何故か実感出来ないでいます。実際一生懸命働けど貧困から抜け出せないワーキングプアに代表される格差社会の拡大。一方で官製談合、官庁の無駄使い、裏金作りなどの無責任な行動、これらが派生して人心の荒廃を生み、親が子を、子が親を簡単に殺める家庭崩壊、その他飲酒運転、ひき逃げとくると、「美しい国」とはとても呼べない心の貧しい国に向かいつつある現状を考えさせられます。ふと散歩して思ったことですが、小学生の下校時に大人が腕章、旗を持って随所に歩哨に立ち子供の安全を見守る態勢を目の当たりにして、ある意味、今は危険と隣り合わせの異様な社会だと思われまます。結局「美しい国、日本」に向かつて政府の各種制度改革のみに頼らず、根本は家庭からお互いを思いやる「美しい心」の育成に努めることが必要だと思うこの頃です。

ではここで、親鴨会野洲支部の現状について少し触れておきます。一昨年 IBM 野洲事業所の看板が降ろされた結果、昨年より野洲支部活動拠点を地域のを借りながら推進しています。しかし、お蔭様で会員数は年々増加して現在 186 名と結構大きな所帯となり、その会員の皆様からは「灯を消すな」の暖かい激励の言葉を糧として関係者一同張り切っております。又今年 4 月から野洲支部独自のホームページを開設、親鴨会本体とのリンクも完了しました。これから内容を充実させ満足できる情報提供を目指して努力してまいります。

因みに野洲支部 HP の URL は、 <http://www.ex.biwa.ne.jp/~oyagamo/index.html> です。

野洲支部：柴原 喬